

授 業 科 目 名	子育て支援	教 員 名	有木 正浩	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義・演習	担当形態	単独		保育士	必修
科 目 番 号	F0I303	配当年次	3年後期	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
単 位 数	1単位				小幼コース	選択
科 目						
施 行 規 則 に 定める科目区分 又は事項等						
科 目	告示別表第1による教科目					
系 列	保育の内容・方法に関する科目					
一 般 目 標	保育の専門性を基盤にした保育相談支援のスキルを獲得し、実践事例等を通して、様々な場や対象に即した子育て支援の方法及び技術を見に付ける。					
到 達 目 標	1. 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。 2. 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。					
授 業 の 概 要	保育士の専門性を活かした保護者支援を行うために、相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の保育相談支援の理解を深め、実践等を通して、様々な場や対象に即した子育て支援の方法及び技術を学ぶ。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回：講義概要の説明（本講義の主旨および講義計画について） 保育士の行う子育て支援の特性Ⅰ（目標1） ・子どもの保育とともに行う保護者の支援 第2回：保育士の行う子育て支援の特性Ⅱ（目標1） ・日常的、継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成 第3回：保育士の行う子育て支援の特性Ⅲ（目標1） ・保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 第4回：保育士の行う子育て支援の特性Ⅳ（目標1） ・子ども、および保護者の状況・状態の把握 第5回：保育士の行う子育て支援の展開Ⅰ（目標2） ・支援の計画と環境の構成 第6回：保育士の行う子育て支援の展開Ⅱ（目標2） ・支援の実践、記録、評価、カンファレンス 第7回：保育士の行う子育て支援の展開Ⅲ（目標2） ・職員間の連携・協働 第8回：保育士の行う子育て支援の展開Ⅳ（目標2） ・社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 第9回：保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）Ⅰ（目標3） ・保育所等における支援 第10回：保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）Ⅱ（目標3） ・地域の子育て家庭に対する支援 第11回：保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）Ⅲ（目標3） ・障害のある子ども及びその家庭に対する支援					

	<p>第12回：保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）Ⅳ（目標3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援</li> </ul> <p>第13回：保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）Ⅴ（目標3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども虐待の予防と対応</li> <li>・要保護児童等の家庭に対する支援</li> </ul> <p>第14回：保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）Ⅵ（目標3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解</li> </ul> <p>第15回：全体総括 期末試験</p>
学生に対する評価	<p>レポート提出10%、発表20%、期末試験70%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回講義の最後に、次回の講義内容のテキスト箇所を伝えるので、入念に予習しておくこと。また、不明な点等は調べておくこと。</li> <li>・講義を受けて、レポート課題があるときは、必ず次回の授業で提出すること。</li> <li>・講義で使った資料やノートのファイル管理を徹底すること。</li> <li>・講義で使用したテキスト箇所を必ず復習しておくこと。</li> </ul>
テキスト	「子育て支援（新・基本保育シリーズ⑱）」 中央法規
参考書・参考資料等	<p>『幼稚園教育要領（平成29年告示）』</p> <p>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』</p> <p>『保育所保育指針（平成29年告示）』</p>
担当者からのメッセージ	<p>社会福祉を履修していることが望ましい。</p> <p>自学自習、ディスカッション、発表など積極的なアクティブラーニングに取り組むこと。</p>
オフィスアワー	メール等でアポイントを取ることを。